

# 会話がなぜ人をいやすのか ～語りきくことの意味と意義～

未だコロナ禍ではありますが、少しずつ以前の生活が戻りつつあります。ここ数年のパンデミックの影響で、改めて**対面で直接言葉を交わす「会話」「対話」というコミュニケーションへの関心が高まっています。**

私たちは日常的に周囲の人々と、そして自分自身ともさまざまな会話を続けています。カウンセリングや心理療法に限ったことではなく、対人援助の営みにおいて、**言葉を交わす相互行為である会話は重要な役割を担っています。**しかし、それが**なぜ、どのように有用なのか、どのような意義・意味があるのか、**という点はあまり注目されてきませんでした。

本講演会では、**対人援助における会話の根本的な位置づけ**をライフワークとされている、立命館大学教授の**森岡正芳先生**をお招きし、「**会話がなぜ人をいやすのか**」というテーマでご講演いただきます。対人援助職にとっては**日頃の実践を振り返る機会**としていただくこと、また一般の方には**心理学的に「会話」についてお考えいただくきっかけ**になることを目的としています。

昨年度のセンター講演会はリモートでの実施でしたが、今回は**3年ぶりに対面**で開催いたします。みなさまと直接お会いでき、会話できますことを楽しみにしております。どうぞ多数のご参加をお待ちいたしております。



**講師：森岡 正芳 先生** 博士（教育学）、臨床心理士・公認心理師

埼玉県生まれ、大阪市内に育つ。予備校生の時、書店で河合隼雄先生の「ユング心理学入門」を手にとったことが、心理学との出会い。京都大学文学部哲学科3年時に河合先生の講義を受け、臨床心理学に強く惹かれるようになる。学部卒業後、京都大学大学院教育学研究科へ進学し、河合先生の指導を受ける。博士後期課程満期退学後、天理大学、奈良女子大学、神戸大学を経て、現在、立命館大学総合心理学部教授。専門は臨床心理学・文化心理学・カウンセリング・ナラティブアプローチ。「物語としての面接」「臨床ナラティブアプローチ」など著書多数。日本心理臨床学会代議員、日本質的心理学会理事。金剛出版の雑誌「臨床心理学」編集委員。

日程

2023年6月3日（土）10:00～12:00

会場

長崎純心大学 大講義室（S205）

参加費

無料

お申込み

QRコードへアクセスし、5月19日までにお申し込みください

お問い合わせ

長崎純心大学心理教育相談センター e-mail : [psycho@n-junshin.ac.jp](mailto:psycho@n-junshin.ac.jp)



定員  
**100名**